広島県看護協会東広島・竹原支部 会報誌

Harmony

HIGASHIHIROSHIMA・TAKEHARA

vol.24
2026.10

広島県看護協会東広島・竹原支部会員数

保健師	7人（入会率 5%）
助産師	10人（入会率17%）
看護師	966人（入会率36%）
准看護師	71人（入会率10%）
合　計	1,054人（入会率30%）

（令和8年10月1日現在）

CONTENTS　❶ ご挨拶／令和8年度 東広島・竹原支部 支部役員　❷ 支部総会　❷・❸・❹ 研修報告

ご挨拶 Greeting

地区理事あいさつ



担当理事
富吉 直美
本永病院

このたび、東広島・竹原支部の地区理事を務めさせていただく富吉です。微力ではございますが、会員の皆様との繋がりを大切にしながら、支部活動の充実と地域における看護の発展に努めてまいります。看護を取り巻く環境は日々変化しており、私たち看護職は互いに学び合い、支え合う力がこれまで以上に大切になっています。会員数も減少している中、地区理事として、皆様のお声に耳を傾けながら、支部活動が実りあるものとなるよう取り組んでまいります。また、地域の関係機関との繋がりも意識し、東広島・竹原支部の地域に根ざした看護の発展に少しでも貢献できるよう努めてまいります。今後とも、ご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

支部長あいさつ



支部長
重森 裕紀子
井野口病院

広島県看護協会東広島・竹原支部の活動に、いつも温かいご支援とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。皆さまが日々の業務の合間をぬって協会事業に参加してくださることで、研修や交流の場がより豊かになり、支部としての力も大きく育っています。これからも、地域の看護を支える仲間として、学び合い、支え合える支部づくりを進めてまいります。どうぞ引き続き、お力添えをお願いいたします。

令和8年度 東広島・竹原支部 支部役員

林（社会経済）　小川（教育）　森本（副支部長）　山口（財務）　得田（総務）



成田（教育）　竹厚（総務）　重森（支部長）　富吉（地区理事）　家村（総務）　久田（副支部長）

令和8年度 東広島・竹原支部総会

令和8年4月11日（土）東広島商工会議所にて東広島・竹原支部総会を開催いたしました。令和7年度の活動報告・決済報告ならびに令和8年度の事業計画、収支予算についての説明があり、すべてにおいて承認されました。

5名の新役員の方々が選任され、就任いたしました。役員一同、皆様のお力となれるよう、精一杯努力してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。





令和8年度 研修報告

社会経済福祉に関する研修会
「音楽の力でより健やかに」～関わるスタッフ編～

開催 令和8年7月7日（火）
講師 米国認定音楽療法士 **狩谷 美穂**氏

担当 林

令和８年７月７日（火）MUSIC POWER for ALL 代表 米国認定音楽療法士 狩谷美穂氏をお招きし「関わるスタッフ編」としてセルフケア（ケアする側のケア）をテーマに音楽療法研修会を開催いたしました。

研修では、音楽療法の目的や作用についての講義に加え、体験型のワークショップを実施しました。ワークショップでは様々な楽器に触れて心を癒やすひとときとなったほか、参加者全員が輪になり、楽器演奏や身体を動かしながらひとつのミッションをクリアするワークも行いました。短い時間でありながら、会場には深い一体感が生まれました。

研修後のアンケートでは、「音楽療法の効果を実感できた」「医療従事者の心のケアに関われる環境作りは、職場改善の取り組みの一つになる」といった声が寄せられました。ワークショップを通して自分自身の心に向き合い、「自分自身を大切にしよう」と再確認する貴重な機会となったようです。



限られた時間ではありましたが、終始和気あいあいとした雰囲気の中で活発な意見交換が行われ、学びの多い実りある研修会となりました。







研究事業

「看護研究サポート講義」 令和8年7月15日（水）
「看護研究における助言」 令和8年8月7日（金）・9月28日（月）・10月23日（金）
「看護研究発表会」 令和9年1月開催予定

講師 広島国際大学　看護学部看護学科　**岡本 亜耶子**氏

担当 **成田**

広島国際大学の岡本先生を講師にお迎えし、2施設の看護研究サポートを行っています。

7月には「看護研究のすすめ方」と題し講師による講義を行いました。講義の後、2施設とも熱心に質問や相談をし、積極的な意見交換が行われていました。8月以降は、3回にわたり助言、指導の機会を計画しています。来年1月には研究発表会を予定しています。多くの方のご参加をお待ちしております。









進路相談会

開催 令和8年8月4日（火）

担当 **竹厚**

令和8年度の進路相談会が8月4日（火）独立行政法人国立病院機構 東広島医療センターにて、ふれあい看護体験 の貴重な時間を使わせていただき実施いたしました。36名の中・高校生の参加があり、DVD「ナースなひととき」の中の「出会いはある日突然に」「災害訓練　DMATで活躍する看護師」の2本の 上映の後、進路相談・質疑応答を行いました。参加者から「看護師になるために必要な長所は何ですか」と質問がありました。緊張のせいかあまり質問はありませんでしたが、参加した中・高校生の半数以上が看護師を目指しており、DVDも真剣に観ておられました。進路相談会を通してより興味・関心をもっていただいたように感じました。







支部研修会
「フィジカルアセスメント～呼吸音の違い～」

開催 令和8年8月26日（水）

講師 独立行政法人 国立病院機構 東広島医療センター　集中ケア認定看護師　**當麻 麻美**氏

担当 小川

令和8年8月26日（水）に東広島医療センターの集中ケア認定看護師の當麻先生にフィジカルアセスメント～呼吸音の違い～と題して、講義をしていただきました。当日は会員16名、非会員4名が参加されました。実際の肺や聴診する位置などをTシャツに書き、二人一組でお互いに聴診をし、呼吸音を聴診しました。実際に、呼吸音を聴診するだけでなく、呼吸音や聴取する位置によって何をアセスメントしていく必要があるのか、どのような看護が必要なのか考える機会となりました。アンケートでも、「実際に聴診することで正しい位置で呼吸音を聴くことの理解を深めることができた」「Tシャツに書くことで実際の聴取する場所が分かった」などの意見があった。看護師経験が10年以上ある方が半数近く参加されており、参加者自身が曖昧で自信がないことも改めて再確認でき、今後の患者さんの観察や後輩等への指導にも役立てることができる実りのある研修会でした。





交流事業
「アロマセラピーの効果とハンドトリートメント」について

開催 令和8年9月18日（金）

講師 独立行政法人 国立病院機構 賀茂精神医療センター　**恵良 友彦**氏

担当 森本

現代社会では多くの人がストレスや心理的苦痛を抱えており、過剰なストレス反応は健康を害する原因となります。今回、心身の調和を取り戻す看護アプローチの一環として、令和8年9月18日 独立行政法人国立病院機構 賀茂精神医療センター　恵良友彦 氏をお迎えし、「アロマセラピーの効果とハンドトリートメント」をテーマに研修を行いました。

精油には「芳香性」「揮発性」「親油性」の3つの特徴があり、嗅覚や皮膚、呼吸器などを介して体内へ働きかけます。トリートメントにより副交感神経の働きを優位にすることで、血行促進や筋緊張の緩和、浮腫や疼痛の緩和といった「身体的作用」だけでなく、不安やイライラの鎮静、睡眠導入、活力回復といった「心理的作用」をもたらします。アロマセラピーを繰り返し活用することは、自身の状態を受け入れ、長期的な効果として視野を広げ新たな価値観を発見することにもつながります。演習では、実際に精油を手にとってハンドトリートメントを実践しました。多忙を極める看護の現場において、まずは看護師自身が過度な緊張や疲労を和らげ、心身の健康を維持するための効果的なセルフケアとしての重要性を体感する機会となりました。ここで得た知見と技術を日々の自己管理に役立てることはもちろん、今後は患者様の緊張緩和やリラックス、QOL向上へとつながる看護ケアとして、臨床の場でも積極的に活かせると考えます。









まちの保健室

昨年からショージR375バイパス店で開催しております。いろいろな方々に利用していただき感謝しております。

これからも地域のかたがたに気軽に利用していただけるよう活動をしていきたいと思います。

健康相談・血圧測定・育児相談等を行っていますので是非お立ち寄りください。



場所 ショージR375バイパス店　日時 毎月第3水曜日 14:00～16:00　※3月･8月･12月を除く

編集後記

会員の皆様のご協力により、今年度も東広島・竹原支部の広報誌を発行することができ、深く感謝申し上げます。

これから寒さが増してまいりますが、お体に気をつけつつ、心温まる日々をお過ごしください。

［発行日］令和8年10月発行　［発行責任者］重森 裕紀子
［発行所］公益社団法人広島県看護協会 東広島･竹原支部　〒739-0014 東広島市西条昭和町12-49-402　TEL.082-422-8858